

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E112N021		英語の言語文化 (Introduction to English Studie)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用		他	英語	日本語	単独								
担当 教員	氏名 山野敬士															
	E-mail 内線															
授業 の 概 要	授業は、英語表現に関する簡潔な英文を読むことで英語力の確認する要素と英語圏の文化を理解する要素に分けられる。まず、前者ではリーディング能力を中心に「教科に関する確実な専門知識」を養うことを目的とする。また、後者では方言や音楽、口語表現などを学ぶことで異文化理解を深め、それを「活用的学習や探求的学習」に活用する技法について考察していく。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 英語構文を中心に正確に英文を読みとり、「教科に関する確実な専門知識」を身に付けることができる。																
目標2 異文化を学び、自らの英語授業に活かすことができるようになる。																
目標3 言語に対する興味的重要性を「探求的学習」などにおいて自らの教授法として活かすことができる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)											7	3				
授業の内容																
1 授業内容の説明 言語文化に関する講義																
2 興味深い英語表現について(1) 英語構文に注意しながら読解する																
3 興味深い英語表現について(2) 語彙に注意しながら読解する																
4 興味深い英語表現について(3) 歴史的な観点から																
5 興味深い英語表現について(4) 身体に関係する表現を活用できるようになる																
6 アメリカ文化について(1) 地理的観点から考える																
7 アメリカ文化について(2) 言語文化の観点から考える																
8 アメリカ文化について(3) 映像や音楽の観点から考える																
9 アメリカ文化について(4) スポーツや食文化の観点から考える																
10 アメリカ文化について(5) 英米の相違点から考える																
11 文学的言語表現について 英語 日本語の翻訳 語学的比較																
12 文学的言語表現について 英語 日本語の翻訳 文化的比較																
13 文学的言語表現について 日本語 英語の翻訳 語学的比較																
14 文学的言語表現について 日本語 英語の翻訳 文化的比較																
15 まとめ 学生による発表や討論																
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		英文和訳を中心に学生に発表してもらいます。			工 夫 そ の 他 の										
	B:意見の表現・交換		重要な英語表現に関する確認テストなどを行います。													
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		テキスト英文読解の予習(10h) 英語圏文化に対する自己診断(ブレイン・ストーミング)(5h)													
	事後学修		英語圏異文化に関するレポート作成(6h) 英米文学に関するレポート作成(5h) 英文読解・語法・語彙の復習(8h)													
	想定時間合計		45													
教科書	教員作成のプリント															
参考書	進度や学生の興味に合わせて、随時紹介します。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	確認テスト	40%										
	レポート	40%										
	授業内の発表や議論	20%										
注意事項	その都度、授業中に注意を与える。											
備考												
リンク												
	URL											